財政状況等一覧表（平成１８年度）

（百万円）

標準財政規模（A）	臨時財政対策債発行可能額（B）	合計（A）＋（B）
16,189	861	17,050

団体名　山鹿市

１　一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）

（百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの繰入金	備考
一般会計	27,510	26,400	1,110	1,089	32,667	89	基金から繰入 815百万円
用地先行取得事業特別会計	816	816	0	0	0	816	
普通会計	27,510	26,400	1,110	1,089	32,667	89	基金から繰入 815百万円

２　１以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの）

（百万円 ， %）

	総収益（歳入）	総費用（歳出）	<法適用以外>形式収支	純損益（実質収支）	企業債(地方債)現在高	他会計からの繰入金	<法適用企業>経常収支比率	<法適用企業>不良債務	<法適用企業>累積欠損金	備考
水道事業会計	403	383	－	20	1,301	12	105.2	－	－	法適用企業
病院事業会計	2,545	2,737	－	△ 192	1,343	276	92.7	－	95	法適用企業
下水道事業会計（公共）	807	721	－	86	5,012	400	112.1	729	－	法適用企業
下水道事業会計（特環）	87	101	－	△ 14	1,717	70	85.8	－	44	法適用企業
国民健康保険事業特別会計	（歳入）7,285	（歳出）6,754	531	（実質収支）531	－	568	－	－	－	
老人保健事業特別会計	（歳入）7,068	（歳出）7,148	△ 80	（実質収支）△ 80	－	555	－	－	－	
農業集落排水事業特別会計（農集）	（歳入）1,898	（歳出）1,898	0	（実質収支）0	8,934	615	－	－	－	
農業集落排水事業特別会計（小規模）	（歳入）3	（歳出）3	0	（実質収支）0	110	2	－	－	－	
農業集落排水事業特別会計（個別）	（歳入）4	（歳出）4	0	（実質収支）0	37	3	－	－	－	
介護保険事業特別会計	（歳入）4,567	（歳出）4,370	197	（実質収支）197	6	646	－	－	－	
簡易水道事業特別会計	（歳入）118	（歳出）118	0	（実質収支）0	927	47	－	－	－	

（注）１．法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
２．法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示している。
３．不良債務及び累積欠損金は、正数で表示している。

３　関係する一部事務組合等の財政状況

（百万円 ， %）

	歳入（総収益）	歳出（総費用）	<法適用以外>形式収支	実質収支（純損益）	地方債(企業債)現在高	当該団体の負担金割合	<法適用企業>経常収支比率	<法適用企業>不良債務	<法適用企業>累積欠損金	備考
山鹿・植木広域行政事務組合	2,936	2,433	503	190	3,809	64.6	－	－	－	
熊本県市町村総合事務組合	13,098	11,170	1,928	1,928	6	0.5	－	－	－	分担金及び負担金 10,200百万円
熊本県後期高齢者広域連合	29	24	5	5	－	3.5	－	－	－	

４　第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

（百万円）

	経常損益	資本又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	備考
山鹿市地域振興公社	23	75	30	－	－	－	－	出損金
幸の国木材工業	△ 20	199	54	－	－	－	－	
小栗郷	10	55	10	－	－	－	－	
あんずの丘	2	20	10	－	－	－	－	
菊鹿フラワーバンク	2	20	10	－	－	－	－	
鹿本町振興公社	7	79	45	－	－	－	－	
土地開発公社	0	15	1	－	－	－	－	

（注）損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

５　財政指数

財政力指数	0.34	実質収支比率	6.7
実質公債費比率	13.6	経常収支比率	89.8

（注）実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3カ年平均である。